

はじめに

【戦略編の策定趣旨】

○今後10年間でパラダイムの転換が求められる3つの分野

- ・「暮らし・コミュニティ」
- ・「産業・活力」
- ・「低炭素社会・エネルギー転換」

に経営資源の集中配分を行うための「まちづくりの指針」と、それを実現するための「行財政運営の視点」を示す。

■まちづくりの指針

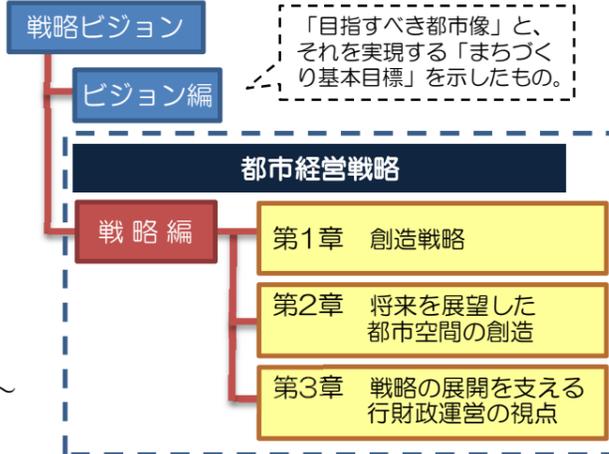
第1章「8つの創造戦略」

第2章「将来を展望した都市空間の創造」

～戦略を促進する都市整備の基本方針～

■行財政運営の視点

第3章「戦略の展開を支える行財政運営の視点」



第1章 創造戦略

創造戦略1 地域福祉力創造戦略 ～市民が孤立することのない地域づくり～

- | | | |
|--------|-------------------------------|---|
| 施策の方向性 | 1-① 市民の孤立を防ぐ支え合いの環境づくり | ・ 地区福まちの活性化による見守りの推進
・ 要支援者情報の取扱いルール確立 |
| | 1-② 地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり | ・ 保健師等による地域へのアプローチ強化
・ 地域医療ネットワークの構築 |
| | 1-③ 災害に備えた地域防災体制づくり | ・ 避難場所等の防寒対策
・ 備蓄倉庫の整備および備蓄物資の拡充 |

創造戦略2 共生社会創造戦略 ～すべての市民が社会に参加できる地域づくり～

- | | | |
|--------|------------------------------|--|
| 施策の方向性 | 2-① 地域で共生する環境づくり | ・ 学校や児童会館を活用した多世代交流の推進
・ 経済的困難を抱える市民の自立支援 |
| | 2-② 子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり | ・ 待機児童の解消
・ 小学校と児童会館の併設化 |
| | 2-③ 歩いて暮らせるまちづくり | ・ 公共施設の効果的かつ効率的な再配置
・ 地下鉄駅周辺等のバリアフリー化の推進 |

創造戦略3 地域マネジメント創造戦略 ～地域資源の活用の推進～

- | | | |
|--------|---------------------|---|
| 施策の方向性 | 3-① 地域マネジメントの推進 | ・ 地域課題解決に向けた区役所の機能強化
・ 区民協議会等の活動の活発化支援 |
| | 3-② 地域活動を活発化する環境づくり | ・ 学校と地域の連携促進
・ 空き家等を活用した地域活動の拠点づくり |
| | 3-③ 雪と共存した暮らしの推進 | ・ 除雪のあり方に関する市民議論
・ 福祉除雪など冬のボランティアの推進 |

創造戦略4 札幌型産業創造戦略 ～新たな価値の創造による産業の高度化～

- | | | | |
|---------------|--------|--------------------------|--|
| 産業
・
活力 | 施策の方向性 | 4-① 食の魅力を生かした産業の高度化 | ・ 道内産品を活用した食のブランドづくり
・ フード特区を活用した食関連産業の誘致 |
| | | 4-② 魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進 | ・ 観光まちづくりプランの策定
・ MICE誘致や海外プロモーション強化 |
| | | 4-③ エネルギー転換に対応した環境産業の創造 | ・ エネルギー関連技術の産業化（研究開発支援） |
| | | 4-④ 超高齢社会に対応した健康・福祉産業の創造 | ・ 生活・健康支援（ウェルネス・サイエンス）産業の振興 |

創造戦略5 都市ブランド創造戦略 ～道内循環を高め、道外需要を取り込む手法と基盤づくり～

- | | | | |
|---------------|--------|---------------------------|---|
| 産業
・
活力 | 施策の方向性 | 5-① 世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開 | ・ 国際戦略プランの策定
・ 若い世代の海外経験の促進 |
| | | 5-② 創造性を生かしたイノベーションの誘発 | ・ コンテンツ特区の活用による産業振興
・ 文化芸術の産業化に向けた取組 |
| | | 5-③ 広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実 | ・ 道内連携、産業間連携の促進
・ 広域ネットワーク（都心アクセス強化道路等）の強化 |
| | | 5-④ シティプロモート戦略の積極展開 | ・ SAPPOROの市内外への展開
・ 国際的な冬季スポーツ大会の誘致 |

創造戦略6 産業人材創造戦略 ～将来の札幌・北海道経済を支える人材の育成・活用～

- | | | | |
|---------------|--------|-------------------------|---|
| 産業
・
活力 | 施策の方向性 | 6-① 将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用 | ・ 創造性や国際感覚を育む教育
・ 留学生や高度人材などの誘致 |
| | | 6-② 誰もが活躍できる社会の実現 | ・ 女性の活躍を支援する保育サービスの拡充
・ ソーシャルビジネスの立ち上げ支援 |

創造戦略7 低炭素都市創造戦略 ～環境負荷の少ない都市構造の形成～

- | | | | |
|---------------------------|--------|----------------------------|---|
| 低炭素社会
・
エネルギー
転換 | 施策の方向性 | 7-① 持続可能な集約型の都市への再構築 | ・ 地下鉄駅等拠点への機能集約と利便性の向上
・ 低炭素まちづくり計画の策定検討 |
| | | 7-② 多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立 | ・ 持続可能な公共交通体系の確立 |
| | | 7-③ 自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進 | ・ 生物多様性の意識の醸成
・ 市街地におけるみどり豊かなオープンスペース |

創造戦略8 次世代型エネルギー創造戦略 ～エネルギー利用効率と安定性の向上～

- | | | | |
|---------------------------|--------|--------------------------|--|
| 低炭素社会
・
エネルギー
転換 | 施策の方向性 | 8-① 次世代エネルギーシステムの普及促進 | ・ エネルギー政策大綱・基本計画の策定
・ 再生可能エネルギーの普及促進 |
| | | 8-② 自立分散型エネルギーネットワークの展開 | ・ 都心部でのエネルギーネットワークの構築促進
・ 既存の都市基盤を活かしたエネルギー利用 |
| | | 8-③ 市民・企業による環境負荷低減の取組の推進 | ・ 再生可能エネルギーの市有施設への先導的導入
・ 市民の省エネ取組の支援 |
| | | 8-④ 循環型社会の構築 | ・ 廃棄物の減量の推進
・ ごみ焼却エネルギーの効率的な回収 |

第2章 将来を展望した都市空間の創造

第1節 都市空間の現状と取組の方向性

<都市基盤>

・計画的な整備により極めて高い水準・札幌オリンピック以降に急速に整備された都市基盤が老朽化

パラダイムの転換が必要な3つのテーマ

<暮らし・コミュニティ>

・地域ごとに高齢化に差異
・住み替えニーズの多様化

<産業・活力>

・経済を支える物流機能
(交通ネットワークなど)が脆弱

<低炭素社会・エネルギー転換>

・低炭素まちづくりへの機運
・市内に存在する熱供給ネットワークの存在

第2節 都市空間の創造に当たっての基本的な考え方

1 都市空間創造の基本目標

取組の方向性	都市基盤	暮らし・コミュニティ
	・都市基盤の効率的な維持・保全	・超高齢社会を見据えた都市機能の集約 ・地域の特性に応じた取組の展開
	産業・活力	低炭素社会・エネルギー転換
	・経済を支える交通ネットワークの強化	・公共交通を基軸としたまちづくりの推進 ・エネルギーネットワークの強化

基本目標

持続可能な札幌型の集約連携都市への再構築を進める

- 超高齢社会**を見据え、**地下鉄駅の周辺**などに、居住機能と生活を支える**多様な都市機能を集約**することで、効率的に都市サービスを楽しむコンパクトな都市
- 良好な環境を備える郊外での暮らしを選択するなど、**住まいの多様性**が確保された**札幌らしいライフスタイル**が実現できる都市
- 公共交通を基軸とした**まちづくり**を推進するとともに、**新たなエネルギーネットワークを構築**する環境都市
- 都市の活力を創出するため、**道内外と多様な交通ネットワーク**でつながる、北海道の中心都市
- 都市基盤が**効率的に維持・保全**され、災害に強い**安全安心な都市**

第2節 都市空間の創造に当たっての基本的な考え方

2 都市空間創造の方向性

第3節 都市空間創造戦略

魅力ある市街地

複合型高度利用市街地 概ね環状通の内側と地下鉄沿線、地域交流拠点に位置付けられるJR駅周辺

・高密度な市街地の形成
・居住と生活を支える機能の複合的集積

○再開発は原則、複合型高度利用市街地内とする(篠路、苗穂、琴似、手稲など)

郊外住宅地 住区整備基本計画などに基づき、**低層住宅地**を主として計画的に整備してきた地域

・良好な生活環境の保全
・誰もが安心して暮らすことができるまちづくり

○学校とコミュニティ拠点(まちセンなど)の併設化
○コミュニティ交通の確保
○空き地・空き家の適切な管理や活用支援

一般市街地 複合型高度利用市街地と郊外住宅地以外の市街地

・多様な住宅地と工業地からなる市街地

○それぞれの地域に応じた適切な土地利用計画制度の運用

活力があふれ世界を引き付ける都心

都心

概ね地下鉄大通駅を中心に、東西南北で各々1~2km程度の広がり

・様々な都市機能の集積による市民生活の質の向上、世界にアピールする都市
・魅力ある都市空間の創出
・先進的かつ積極的なエネルギーネットワークの構築促進

○交流拠点の整備(大通、創世、札幌駅)、創成川以東のまちづくり推進
○北3条広場、駅前通(サイドリザベーション)によるにぎわい空間の創出
○自立分散型エネルギーの推進

多様な交流を支える交流拠点

地域交流拠点

交通結節点等で地域や区の拠点としての役割を担う拠点
地下鉄始発駅(新札幌、宮の沢、麻生・新琴似、真駒内、栄町、福住)
その他(大谷地、白石、琴似、北24条、平岸、澄川、光星、月寒、手稲、篠路、清田)

・公共機能や中核的な都市機能の集積
・後背圏や近隣の魅力資源等と連携した地下鉄末端駅の機能向上
・冬でも快適な歩行者ネットワークの創出

○新さっぽろ、真駒内など地下鉄始発駅のまちづくり
○空中歩廊等による駅接続の推進(琴似、苗穂など)
○区役所の拠点への配置原則の確立(白石区役所)

高次機能交流拠点

札幌の魅力と活力の向上を先導する機能が集約する拠点
円山動物園、藻岩山麓、北大、苗穂、東雁来、モエレ沼公園・さとらんど、大谷地流通業務団地、東札幌、テクノパーク、札幌ドーム、定山溪、芸術の森

・魅力を高める活力を支える土地利用の推進
・投資や人・モノを呼び込む機能の強化

○大谷地物流効率化に向けた流通業務団地の高度化の検討
○東雁来食産業などの集積 など

持続可能な都市を支えるネットワーク

交通

地下鉄、バス、路面電車、道路、新幹線 など

・公共交通を基軸とした交通体系の確立
・骨格道路網の整備(広域連携の強化)
・路面電車のループ化及び沿線の魅力向上

○都心アクセス強化道路軸(創成川通の機能強化、豊平川通の延伸)の検討
○広域交通(空港、港湾、新幹線)の連携推進

みどり空間

環状グリーンベルト、みどりの軸(コリドー)など

・みどりのネットワークの充実(環状グリーンベルト、コリドー)
・みどりの再構築の推進

○みどりのネットワーク充実(厚別山本、月寒公園等)
○地域特性に応じた公園機能の再構築

エネルギー

熱供給基盤、再生可能エネルギーなど

・自立分散型ネットワークの確立
・広域的な再生可能エネルギー活用

○都心・拠点等でのエネルギーネットワーク強化
○広域圏での再生可能エネルギーの活用

都市基盤マネジメント

都市基盤(インフラ)

道路、橋梁、上下水道、市有建築物など

・既存の都市基盤の適切な維持と活用
・都市基盤の機能の見直し・複合化
・耐震化の推進

○インフラ(下水道等)の長期改修計画の策定・運用
○コミュニティ施設などの再配置
○都市インフラの耐震化、強靱化の推進

